



村口社長

謹賀新年

顧客各社様、明けましておめでとうございます。

今年も宜しく、今年こそ宜しく

激動混迷していると言っても過言ではない昨今の国内政治、経済の中、新しい年を迎えました。昨年の弊社エンジニアリング事業部は、海外営業部の好調な受注を中心に、神岡、九州、東北らの各支店も国内顧客様からの受注を得て、結果としてほぼ予算通りの成績で推移しております。こんな中、我が国内営業部は、顧客各社様の大型投資の一段落の影響等も受け、過去に無い程の受注低迷の深刻な状況であります。2008年はこの厳しい受注環境の中ですが、国内営業部員一同原点にもどり、顧客各社様の訪問を更に進め、深耕営業させていただき所存であります。顧客各社様、どうか**MESCO**の持つ非鉄金属を中心としたエンジニアリングを、今年こそ宜しく願い申し上げます。

2008年元旦



橘 国内営業部長

新年おめでとうございます。

多事多発の昨年ではありましたが、当社のお取引先の各社各位様におかれましても、穏やかで良い新春をお迎えのことと存じます。当社業績におきましても、非鉄金属市場の好況を背景にして、昨年度より若干の減収減益ではありますが、2005年に立案した中期計画の最終年度目標を何とか達成できる見通しとなっております。業績的には上述の如く、まずまず納得のいく結果でございましたが、今後ともさらにお取引各社様にご満足 of 行く設備や役務を提供し続けるために改善あるいは解決を図っていかねばならない課題も明らかになって参りました。その第一は、人材の補強です。当社もいわゆる2007年問題に直面しており、国内外を問わず増え続ける業務量をコスト・品質・納期を守りつつ、処理していくに十分な技術者の陣容とは言えず、新卒あるいは中途を問わず、有為の人材の採用・確保に鋭意取り組んでおります。只、全業界的に人材不足の昨今、人材の確保は中々思うようにまかせず、現有社員の教育や、技術の継承も併せて、長期的視野において今後重点的に進めてまいります。その第二は、品質の確保です。昨年の世相を現す漢字は「偽」という字であったと、広く喧伝されております。これは、主に食品業界において食材の原産地や、賞味・消費期限を詐称するというような本来は一番の売り物であるはずの食材品質の虚偽提供をしてしまう事件が多発したことによるものです。当社の売り物は食品ではありませんが、高品質であることにより顧客満足を得るという点では同様であり、これらの事件はもって他山の石とすべきであると認識しております。その第三は安全の確保です。お客様並びに当社の協力会社員及び当社員全てにとって重要なことは製造や工事における災害の防止、安全の確保です。その維持向上を願って、昨年は当社の経営責任者である私自身が率先して、安全活動を実施して参りました。お蔭様で、昨年は重大災害の発生は免れることが出来ました。今年は年間無災害へと目標をレベルアップして昨年以上に安全活動に重点を置いて指導して参ります。

三井金属エンジニアリング株式会社
代表取締役社長 村口 和夫

Engineering
Quarterly

平成20年 1月1日 発行 Vol.41
発行責任者 国内営業部長 橘 政人
(tachibana_m@mesco.co.jp)
発行担当者 国内営業部 正木 孝信
(masaki@mesco.co.jp)

明日を担う技術の **MESCO**
三井金属エンジニアリング株式会社

本社 〒130-8531 東京都墨田区錦糸 3-2-1 7F 15階 Tel 03 (5610) 7831 Fax 03 (5610) 7861
国内営業部 〒130-8531 東京都墨田区錦糸 3-2-1 7F 14階 Tel 03 (5610) 7840 Fax 03 (5610) 7863
東京支店 〒273-0024 千葉県船橋市海神町南 1-1667-1 Tel 047 (432) 0131 (代表) Fax 047 (432) 0127
東北支店 〒039-1161 青森県八戸市大字河原木字浜名谷地 76 Tel 0178 (28) 2041 (代表) Fax 0178 (28) 5251
神岡支店 〒506-1114 岐阜県飛騨市神岡町鹿間 1-1 Tel 0578 (2) 3539 Fax 0578 (3) 2862
九州支店 〒836-0817 福岡県大牟田市浅草田町 3-1 Tel 0944 (57) 3190 Fax 0944 (54) 5539

MESCO

Engineering Quarterly

2008年1月 Vol. 41

東北支店

八戸製錬(株)殿向け 排ガス処理設備増強更新工事 完成

MESCO 東北支店は、八戸製錬(株)八戸製錬所殿より同社亜鉛精製工場排ガス処理設備のガスクーラー及びバグフィルター増強更新工事を受注し、平成19年4月10日に予定通り完成引渡し致しました。

既存排ガス処理設備の老朽化と合わせ精留亜鉛の増産に伴い、伝熱面積 920 m²のガスクーラー、ろ過面積 1560 m²のバグフィルター等の排ガス処理設備増強更新を、設計から製作据付試運転まで一貫して施工したものです。同設備の架構、作業床、階段及びクーラー伝熱管等は、同社が生産した亜鉛で溶融メッキを施してあります。

また、騒音対策として350Kw排ガス誘引ファンの防音材には遮音性能に優れた当社製品である**MESCO** オンシャットを採用しました。

1月の基礎工事から始まり約3ヶ月間の短工期で現場工事を完了出来たのは暖冬という気候にも恵まれましたが、関係協力会社との連携はじめ、綿密な工事計画のもとでの現場工事の結果であります。

今後も**MESCO** 東北支店は、亜鉛乾式製錬設備建設・増強等の豊富な経験と蓄積した技術を生かし、関係協力会社と共に顧客から満足される工事を遂行していきます。



亜鉛精製工場排ガス処理設備

三池製錬（株）殿向け 廃熱ボイラ チューブバンク更新工事 完成

MESCOは、三池製錬（株）殿より、MF 炉廃熱ボイラのチューブバンク更新工事を受注し、当社 九州支店が工事を遂行し完成致しました。

本設備は、既存の亜鉛回収炉であるMF 炉の廃熱ボイラのチューブバンクを更新しスプリングハンマを取付けることによりチューブに付着するダストを除去し廃熱ボイラの能力向上とともに、操業の安定化と容易なメンテナンスを目指すものです。

MESCOは、廃熱技術で世界屈指の技術力を持つ FOSTER WHEELER ENERGIA OY（FINLAND）社との代理店契約（技術提携）による廃熱ボイラ、スプリングハンマらのノウハウと経験を生かし、非鉄製錬環境分野に廃熱ボイラ（パネル＋ダスト除去装置）の技術を提供し三池製錬殿のニーズに応えることが出来ました。

今後も**MESCO**は、非鉄金属で培った技術と提携先の優れた技術を積極的に国内に導入し多様なニーズに挑戦していきます。



三池MF 炉廃熱ボイラ

MESCOの豊富な経験と優れた技術は、広い分野でご愛顧を頂いております。

カシュー殿、日本鑄鉄管殿、向山工場殿 新規顧客開拓

MESCO国内営業は、部を上げて新規顧客の開拓を進めてきましたが、このほど埼玉県久喜・菖蒲工業団地内にあります企業3社から新規を受注し完成することができました。

鑄鉄管製造の日本鑄鉄管（株）殿からは、ウオーキングビーム油圧配管更新。合成樹脂製造のカシュー（株）殿からは、工場避雷針更新。鉄筋製造の（株）向山工場殿からは、冷却水配管更新及びコンプレッサー用エアー配管新設工事らであり、これらの新規顧客様から受注した案件は、いずれも**MESCO**の得意とする分野であり、競合社との熾烈な競争でありましたが、工事实績からの設計能力や多くの信頼性が評価され、受注に到りました。

MESCOは、ここまでの培った技術と豊富な経験のもとで、顧客との操業工程の調整を図り予定通り完工し顧客より高い評価を得ました。

MESCOは、今後とも顧客ニーズに対応し更にそのすそ野を拡大していきます。



日本鑄鉄管株式会社殿



カシュー株式会社殿



株式会社向山工場殿

DCP Copper & Cobalt Project 殿向け ISA プロセス銅カソード剥取機 受注

MESCO海外営業部はこの度、オーストラリアの Xstrata Technology 社を通じ英国のNikanor 社からコンゴのDCP Copper & Cobalt Project 向け ISA プロセス銅カソード剥取機2台を受注しました。

Nikanor 社は主力鉱山としてコンゴの Kov Mine の権益を持っており、今回 ISA プロセスによる銅製錬所を新設して 2009 年から銅カソード（25万トン/年）の生産を始める予定です。

MESCOは銅電解の分野では現在主流になったパーマネントカソード方式による ISA プロセス銅電解法を Xstrata Technolgy 社と共同開発し主として剥取機を中心としたハンドリング機械を担当して来ました。既に本方式の剥取機では約 40台の受注実績があり、この分野のトップランナーとしての**MESCO**の豊富な経験と技術力が買われて今回の受注となりました。

MESCO海外営業部は、これらの設備の多くの引合いに対応しています。



ISA プロセス銅カソード剥取機

JR 静岡駅・乗務員仮眠室にオンシャット採用

昨年 8 月、JR 静岡駅の駅員仮眠室の遮音・制振対策として、過去における JR 大阪駅、名古屋駅、東京駅への導入実績とその遮音効果が認められ**MESCO**オンシャットが採用されました。

乗務員の仮眠室は、線路の高架下に設けられ一日 600 本以上もの列車が通過するため、高度な遮音・制振効果を求められます。

この度、多くの遮音材の中から、遮音及び制振性能に優れた**MESCO**オンシャットが採用されました。

J R では安全管理の徹底が求められる中、乗務員の睡眠障害等に対し、健康管理の対策がより重要な時代となってきたことから静寂感ある落ち着いた空間を作ることににより、乗務員の健康管理の向上を図った一例です。

MESCOオンシャットは、今後も幅広い分野で要求される遮音・制振対策の提案と販売に努めてまいります。

- ・ オンシャット施工面積：約 1,350 m²
（鉛 1.0 ㌦ボード/800 枚）



J R 静岡駅・乗務員仮眠室